

IR

I nstitutional R esearch

IRとは：大学等の高等教育機関において、教育・研究活動等の状況を把握・分析し、経営判断に必要な情報を提供する機能のことです。
このIR担当者に必要な知識・スキルは、高等教育機関に限らず、様々な業界においても十分に活用できるものです。

担当者向け実践プログラム 受講生募集

「アンケート調査」の分析や報告にお困りの
教育機関・官公庁・自治体・企業の皆様へ

＼ このような困りごとを抱えていませんか？ ／

- ✓ 収集したデータの適切な前処理ができない
- ✓ 様々な視点からのデータ分析を効率的に行うことができない
- ✓ 他のデータと組み合わせた総合的な分析ができない
- ✓ データの可視化や結果報告に関する技術・経験が不足している

[2025年3月17日(月)より第7期生出願受付開始]

- 開講期間: 2025年5月～2025年11月(修了予定日: 2025年11月28日(金))
- 授業形式: 完全オンライン(講義動画 + リアルタイム授業 + 個別指導)
- 募集人数: 8名程度(書類審査等による選考あり)

OIRE HP ▶



学長挨拶

山形大学 学長
玉手 英利
Hidetoshi Tamate



昨 今の大学、自治体、企業等を取り巻く環境は、人口減少による人材不足や急速なデジタル化の進展により、大きな転換期を迎えています。また、客観的なエビデンスに基づく経営判断と、組織の継続的な成長のための業務効率化が強く求められています。

経営判断に必要な情報を収集・加工・分析し、意思

決定者に提供する専門家を、米国の高等教育機関では、「IR (Institutional Research) 担当者」と呼んでいます。このIR担当者に必要な知識・スキルは、大学等に限らず、様々な業界においても十分に活用できるものです。

山形大学では、2020年5月から日本初のIR担当者を専門的に養成する履修証明プログラム「IR (Institutional Research) 担当者向け実践プログラム」を開講しました。本プログラムでは、大学で実施されているアンケート調査を題材に、意思決定者への情報提供に必要な「データ処理」から「プレゼンテーション／レポート」等の基礎的な知識・スキルを体系的に涵養します。

多くの方にご参加いただくことを期待しています。

[Introduction]

初心者向け：アンケート調査におけるデータ処理・分析・プレゼンの基礎講座

データを適切に処理できていますか？

組織の継続的な発展・成長には、ステークホルダーからのフィードバックを適切に把握し対応することが不可欠です。アンケート調査は、組織を取り巻く関係者の意見や要望を効率的に収集できる代表的な調査手法です。

各組織における一般的なアンケート調査としては、大学では「授業評価アンケート」、自治体では「施設利用実態調査」、企業では「ブランドイメージ調査」等が挙げられます。また、組織の種類を問わず関係者の声を聞く「満足度調査」が広く行われています。

しかしながら、アンケート調査を実施しても、多くの担当者は以下のような課題に直面しているのではないのでしょうか。

【アンケート調査担当者が抱える代表的な課題】

- 収集したデータの適切な前処理ができない
- 様々な視点からのデータ分析を効率的に行うことができない
- 他のデータと組み合わせた総合的な分析ができない
- データの可視化や結果報告に関する技術・経験が不足している

結果、意思決定者への効果的・効率的な情報提供に課題を抱えている担当者が多いと考えています。

米国の大学では、学内外のデータを効率的に収集・分析し、大学における意思決定や継続的改善をサポートすることを目的

として、IR (Institutional Research) 部門を設置しています。日本においても、2014年頃からIR機能を導入する大学が増えました。

また、米国の一部の大学では、IR専門人材の育成を目的とした学位プログラム（博士課程、修士課程）や非学位プログラム（履修証明プログラム）が開設されており、修了生は、IRやIE (Institutional Effectiveness) 部門のディレクター、リサーチアナリスト、アセスメントアナリスト等として活躍しています。

山形大学では、**明治大学との包括連携協定**（2019年締結）の下、2020年5月から**日本初のIR担当者を専門的に養成する「IR (Institutional Research) 担当者向け実践プログラム」**を開講しました。米国の大学や日本における国公私立大学においてIRの実践経験を持つ教職員が講師を務め、米国のIR人材育成の知見を活かしながら、IR業務に必要な基礎知識とスキルを体系的に涵養できる教育を提供しています。

業種を問わない実践型プログラム

本プログラムは、**学校教育法第105条に基づく「履修証明プログラム」**であり、修了者には学長名による「履修証明書」を交付します。また、2022年度（令和4年度）には、**文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)**の認定を受けています。

本プログラムでは、大学が実施するアンケートを教材とし、データ処理からプレゼンテーションまでの一連のプロセスを学びます。「大学」が題材となりますが、**学習内容の大部分は業種を問わず応用可能であり、自治体や企業等からの受講も歓迎します。**

4つの POINT

01 日本初の IR履修証明 プログラム

IRに特化した日本初の履修証明プログラムを提供します。修了者には、学校教育法に基づき学長名による「履修証明書」を交付します。

02 全ての講義を オンラインで 実施

オンデマンド型の「講義動画」とリアルタイムによる「オンライン授業」を組み合わせた「完全オンライン形式」で実施します。これにより、国内外どこからでも受講することができます。

03 修了後の 充実した 学習環境

オンデマンド型教材へは、プログラム終了後も翌年2月末までアクセス可能なため、繰り返し復習することができます。また、翌期以降のリアルタイム授業にもオブザーバーとして参加いただけます。

04 米国の大学に おける 教授法を応用

プレゼンテーション発表会を通じて、データ処理、可視化、発表スキル等の基礎を涵養します。また、プログラムの中盤と最終成果発表後には個別指導を行い、学びを深めます。

■本プログラムの到達目標

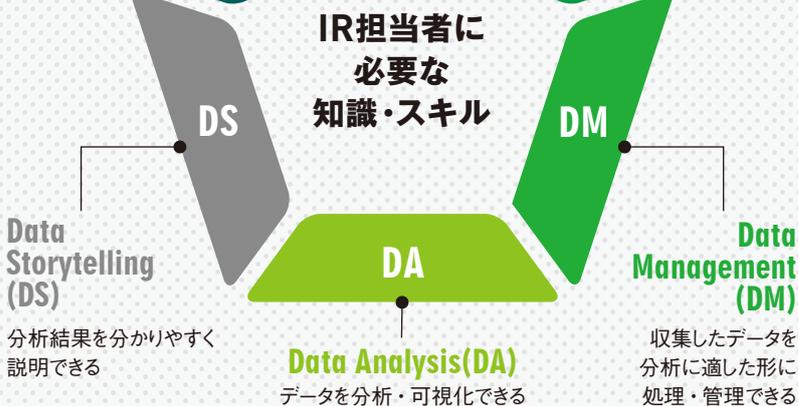
本プログラムでは、IR担当者に必要な5つの要素（所属組織を取り巻く状況、アセスメント、データマネジメント、データ分析、情報提供）に関する基礎的な知識・スキルの習得を目標としています。

Contextual Knowledge (CK)

所属組織における諸活動や経営等について理解できる

Assessment (AS)

効果検証の重要性や直接指標・間接指標等について理解できる



*本プログラムでは、「R」によるデータマネジメント、データ分析・可視化、レポート作成(Quarto)の基礎を学びます。また、「Microsoft Power BI」や「Microsoft Forms」等の使い方についても取り扱います。

■主な実施科目と学習する知識・スキル

科目分野	科目コード	コース番号	科目名	学習する知識・スキル (上図参照)					
				CK	AS	DM	DA	DS	
IR入門	IR	101	IR入門	○	○				
	IR	151	IRの発展過程	○					
	IR応用	IR	171	明治大学におけるIR	○	○			
		IR	172	山形大学のIR	○	○			
		IR	205	公立大学におけるIR	○				
データマネジメント & 分析 (DMA*)	IR	211	IEとデータ活用		○				
	DMA	101	DMA入門			○			
	DMA	102	RによるDM入門			○			
	DMA	103	データ分析・可視化入門				○		
IR実践	DMA	104	レポート入門			○	○	○	
	IR	191	IRプロジェクト (1)			○	○	○	
ゲスト講演・その他	IR	192	IRプロジェクト (2)	○		○	○	○	
	IR	175	他大学におけるIR	○	○				
個別指導 (IAS**)	IAS	101	発表指導1	○		○	○	○	
	IAS	201	発表指導2	○		○	○	○	

注: 「○」は、その科目の学習目標の中に、上図に該当する知識・スキルの習得が含まれていることを意味します。

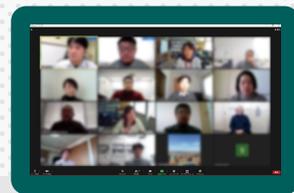
* Data Management and Analysisの略 ** Individual Academic Supportの略

Curriculum Design and Development: 藤原宏司(山形大学)

■国内外どこからでも 受講可能な授業形式(完全オンライン)

毎週2〜3時間程度のオンデマンド型教材の配信と、計8回(各回4時間程度)のオンラインによるリアルタイム授業を実施します。移動は不要ですので、国内外どこからでも受講することが可能です。

▼リアルタイム授業の様子



▲オンデマンド型教材の配信イメージ

きめ細やかな指導…プレゼンテーション発表会の後には、各受講生の発表内容に合わせて、個別の発表指導を行います。また、授業以外にも、IR担当者としての悩み等、何でもご相談ください。

FAQ

※2025年3月3日現在の内容です。FAQは随時更新されるので、本プログラムのホームページを合わせてご参照ください。

①リアルタイム授業への参加が困難な場合について

【質問】 第3回目だけ参加できそうにないのですが、別課題の提出等により修了要件を満たすことはできますか？

【回答】 本プログラムは、全科目の必修および全リアルタイム授業への参加を前提として構成されています。よって、**原則、全てのリアルタイム授業に出席する必要があります。**しかし、突発的なイベント等により、リアルタイム授業への参加が困難となるケースが発生することも理解しています。その場合は、授業時間を補完する分の作業時間を伴う課題提出をもって参加したと見なします。

ただし、最終成果発表会である7回目(11/1)と8回目(11/2)のどちらかに関しての参加は必須とします。

②厚生労働省における教育訓練講座指定について

【質問】 厚生労働省における教育訓練の指定講座となっていますか？

【回答】 本プログラム第7期(履修期間: 2025年5月~2025年11月)は、厚生労働省における教育訓練の対象講座にはなっていません。教育訓練講座の指定を受けるためには、指定要件の一つである「特定の団体等に限らず広く労働者一般を対象としたプログラムである」という基準を満たす必要があります。よって、本プログラムでは、大学業界以外からも受講できるよう募集要項における応募資格を変更し、第6期(2024年度)には初めて大学関係者以外(業種: 複合サービス事業)の受講生を受け入れることができました。現在、2026年4月1日からの講座指定等に係る申請を準備中です。



文部科学省 令和4年度
「職業実践力育成プログラム」(BP) 認定課程

大学等におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP・Brush up Program for professional)として文部科学大臣が認定しています。

IR担当者向け実践プログラム 第7期受講生募集要項

課程名

IR (Institutional Research) 担当者向け実践プログラム
※文部科学省 職業実践力育成プログラム (BP) 認定課程 (履修証明プログラム)

応募資格

高等学校卒業等々の大学入学資格を有し、以下のいずれかを満たす方

- ① 現在、大学等の高等教育関係機関に勤務し、IR (Institutional Research) の基礎的な知識・スキルを学びたい方
- ② 高等教育に関心があり、将来、大学等の高等教育関係機関で職に就く意欲のある方
- ③ 意思決定者への情報提供に必要な「データ処理」や「プレゼンテーション」等の基礎的な知識・スキルを、大学の文脈を題材として体系的に学びたい方

定員

8名程度 ※受講者が一定数に満たない場合は、講座を中止することがあります。

履修期間 総時間数

- ① 履修期間: 2025年5月 ~ 2025年11月 (修了予定日: 2025年11月28日 (金))
- ② 総時間数: 90時間以上

教育課程

IR (Institutional Research) 担当者に必要な5つの要素における基礎的な知識・スキルの習得を目標としたカリキュラムを編成しています。

授業方法

- ① オンデマンド型の「講義動画」とリアルタイムによるオンライン授業 (週末開催、月に約1回) を組み合わせた完全オンライン形式

【第7期リアルタイム授業実施日】

#1. 2025年5月17日 (土) #2. 2025年6月14日 (土) #3. 2025年7月5日 (土) #4. 2025年8月2日 (土)
#5. 2025年9月6日 (土) #6. 2025年10月4日 (土) #7. 2025年11月1日 (土) #8. 2025年11月2日 (日)

※土曜日の授業時間: 13時30分~17時50分 (最大) ※日曜日の授業時間: 9時~12時30分 (最大)

- ② 授業には、講義と実習があります。実習では、「R」や「Microsoft Power BI」等を用いたデータ処理、データ分析・可視化、情報提供 (レポート作成、プレゼンテーション等) を扱います。この他、授業時間外に課題を課します。
- ③ 教材の配布や課題の提出、クラス内のコミュニケーション等を目的として、Microsoft 365 および Microsoft Teams を使用します。(Microsoft 365等のライセンスをご自身で用意する必要はありません。)
- ④ 受講には、Windows環境を有し、カメラ、マイクを利用してオンライン授業にアクセスできるPCが必要です。また、PCのユーザー名は日本語表記 (例: 山形 花子) ではなく、英語表記 (例: Hanako Yamagata) での設定をお願いします。
※リアルタイム授業への参加時には、ヘッドセットのご利用を強く推奨します。

【推奨受講環境】

修了生の経験から、サブモニター (セカンドモニター) があると受講および作業効率が大幅に向上します。

- ⑤ 2025年7月および2025年11月の平日に、それぞれ約1時間の「個別指導 (発表指導)」があります。日程は受講生ごとに設定します。

修了要件

- ① 履修期間内に、全ての科目を履修し、関連する全ての課題に合格すること
※修了生全員に「修了生の声 (Alumni Testimonials)」の執筆・提出を課しています。
- ② 最終成果を確認する「IR192: IRプロジェクト (2)」に合格すること
- ③ 山形大学IR担当者向け実践プログラム運営委員会による修了認定を受けること

履修証明書

本プログラムの修了者には、学校教育法に基づき学長名による「履修証明書」を交付します。
※大学等の履修証明制度について文部科学省のホームページを参照してください。

受講料

150,000円 ※支払われた受講料は、講座の中止以外の理由では返還しませんのでご了承ください。

出願方法	<ul style="list-style-type: none"> ①本プログラムの出願用WEBサイト(2025年3月17日(月)公開予定)から出願書類を作成し、提出してください。 ②出願書類の主な内容: 氏名、勤務先、勤務年数、最終学歴、出願動機(200字以上400字程度)、本プログラムを通じて達成したいこと(200字以上400字程度)、今までの業務内容(200字以上400字程度)等
選考方法及び履修許可	<ul style="list-style-type: none"> ①本プログラムの到達目標に照らして、出願書類の内容に基づき選考を行います。 ②選考結果については、電子メールにてお知らせします。 ③合格者の方には、受講料の納付方法をお知らせします。また、以下の確認書類から「パスワード保護を施したPDFファイル」を作成して、本プログラムが指定するWEBサイトより提出してください。 <p>【確認書類】</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 最終学歴を証する各種証明書(卒業証明書等) b. 在職証明書等(在職中の方のみ) c. 戸籍抄本(旧姓の方のみ) <ul style="list-style-type: none"> ④指定された期間に必要な受講手続きを行った合格者に対して、履修を許可します。
出願スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ①出願期間 2025年3月17日(月)～2025年4月11日(金) ②選考結果通知 2025年4月15日(火)※合格を辞退される方は、2025年4月16日(水)の正午までにご連絡ください。 ③受講手続期間・受講料納入期間 2025年4月15日(火)～2025年5月15日(木)
単位授与の有無	本プログラム修了による単位授与はありません。
実施体制	本プログラムは、山形大学IR担当者向け実践プログラム運営委員会によって運営されます。

IR担当者向け実践プログラム 第7期特別聴講生募集要項

特別聴講生制度について	本プログラム修了後も継続的に学習したい方のための制度です。特別聴講生は、第7期における全ての教材にアクセスできる他、Microsoft Teamsを利用したコミュニケーション等が可能となります。
応募資格	本プログラムの修了生であること
聴講料	18,000円 ※支払われた聴講料は、講座の中止以外の理由では返還しませんのでご了承ください。
聴講期間	2025年5月中旬～2026年2月下旬
出願方法スケジュール	本プログラム修了生専用コミュニケーションツールにおいてお知らせします。

お問い合わせ

山形大学 教育推進機構 教育企画・教学マネジメント部門(OIRE)

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 TEL: 023-628-4303 (10:30～17:00)
E-mail: yu-oire@jm.kj.yamagata-u.ac.jp <https://ir.yamagata-u.ac.jp/>

